



# 仏教保育

6

June

伝えよう <sup>いのち</sup> 生命の尊さ ほどけの心

## 第 5 回社員総会／平成 28 年度 第 1 回仏教保育研修会

平成 28 年 6 月 1 日／大本山増上寺・光摂殿

### “いかせいのち”は不変の使命

～子どもが輝く未来に向けて全議案採択～



古屋常任理事



荻野常任理事



高木常任理事



高輪常任理事



高山副理事長



緑谷理事長



大塚福島大会  
事務局長



吉岡福島大会  
実行委員長



堀江事務局次長



五島事務局長



金子監事



麻布常任理事



### ■社員総会

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は 6 月 1 日、大本山増上寺・光摂殿において標記の会を開催しました。2 年目を迎えた子ども・子育て支援新制度も、制度と運用のズレは依然として解消されず、新制度に求められる理想からはほど遠いようです。文科・厚労の両省と内閣府は幼稚園にも待機児童受け入れを促してはいるものの、騒音等のクレーム、教諭・保育士の人材不足が進捗を阻んでいるのが現状のようです。こうした背景の中、子どもが輝く未来を志向した議案を上程。議案はすべて異議なく可決しました。

また、恒例の仏教保育研修会では、人材育成の指導者として知られる山崎啓二郎先生（オフィスJKS 代表）からご講演頂きました（要旨は次号）。

司会・進行を務める五島 事務局長が開会を告げ、緑 谷一雄理事長の主唱で三歸 依文を斉唱。同理事長挨拶の後、司会者から本会が成立することを報告。定款第 26 条に則り、緑谷理事長が議長に就任し議事に入りま

した。

上程議案は次の通り。

・第 1 号議案  
平成 27 年度事業報告

・第 2 号議案  
平成 27 年度収支決算・監査報告

・第 3 号議案  
平成 28 年度事業計画

・第 4 号議案

・平成 28 年度収支予算  
・第 5 号議案 その他  
事業報告については、高輪真澄総務担当常任理事より、所管する ①生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開、⑥関係団体との連絡提携、⑧国際交流、社会貢献の実践、⑨奨励事業についての議案を別紙資料の記載に基づいて報告。続いて高木正尊研究担当常任理事より、②調査研究、③現職教諭、④指導者養成について資料記載に沿って報告。次いで荻野順雄事業担当常任理事より、⑤編集・

# 「仏教保育功労賞」お二人に贈呈

おめでとうございます

八木名誉会長



## 懇親会



刊行について資料記載に基づきながら経緯を報告。⑦ 保育制度対策の活動強化については、古屋吉雄保育制度担当常任理事から、1月20日、ザ・プリンスパークタワー東京で開催した新年懇親会での状況を交えて報告。最後に、堀江秀典事務局次長から、⑩会議について資料記載の通り実施したことを報告しました。

第2号議案「平成27年度収支決算」については所管する麻布恒子財務担当常任理事より資料に沿って詳細説明が行われ、「監査報告」については金子聡秀監事から、業務監査については法令・定款および規則等に従い適正に運営されており、会計監査

についても貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録並びに付属明細書すべて法人の財産及び損益の状況を正しく示していることを認めた旨、報告がありました。

第3号議案「平成28年度事業計画」については、所管する各担当常任理事並びに事務局長、事務局次長から、基本的には継続事業として前年度同様、積極的に事業を展開し活動を続けていくこと。保育制度対策については今夏の参議院議員選挙に伴う祈願法要を実施する予定であること、等を上程しました。

第4号議案「平成28年度収支予算」については、麻布恒子財務担当常任理事から、前年度決

算額を勘案しつつ、事業活動を促進できるように構築した。但し、28年度は全国大会開催のため大会関連の科目への金額を計上したのでご審議願いたい旨を述べてから、資料に基づいて詳細な説明がありました。

議長から、第3号議案並びに第4号議案の一括賛否を諮ったところ、全会一致で採択・可決されました。

第5号議案「その他」では、吉岡棟憲福島大会実行委員長（福島ルンビニー幼稚園）から、現時点での参加申し込み者は500名ほどです。500名では講師の謝礼、宿泊をはじめ、スタッフのTシャツ、各種印刷物等々で支出が大きく上回り、

算額を勘案しつつ、事業活動を促進できるように構築した。但し、28年度は全国大会開催のため大会関連の科目への金額を計上したのでご審議願いたい旨を述べてから、資料に基づいて詳細な説明がありました。

続いて、大塚孝明大会事務局長（梁川保育園）から、基調講演の講師・大井千加子さんの紹介と、700名参加への協力の要請がありました。

このあと、5月16日の理事会で承認を得た「熊本地震への義援金」50万円を、公益財団法人全日本仏教会（全日仏）に寄託。緑谷理事長から全日仏財務部長・和田学英氏に交手されました（次頁に写真）。和田氏は、感謝の言葉に添えて「間違いく熊本にお届けします」と述べられました。

小憩のあと、講師の山崎啓二郎先生による「魅力ある仏教保育者を育てるために」のテーマで仏教保育研修会が行われました。先生は人材育成の基本的な考え方、人材育成の落とし穴、人材要件の三要素等をベースに話され、仏教での人間の成長段階に踏み込んだ人材育成論をお話してくださいました（要旨は次号で報告）。

### 関岡俊二先生

（前日仏保理事長、多摩みゆき幼稚園理事長・東京都多摩市）



法政大学 経済学部卒業後、玉川大学 通信課程において

幼稚園免許を取得。昭和39年、宗教法人多摩みゆき幼稚園を発足した初代園長・関岡賢一先生の後を受けて、園長に就任。昭和61年に学校法人化し建学の精神「心と体の健康」の保育目標に、宗教教育と健康教育を通して子どもの基本的な「根」を育

てる教育を実践。また、曹洞宗龍澤寺、高西寺住職を務め、曹洞宗東京保育協会会長として曹洞宗保育の推進・指導を推進。他方、多摩市立幼稚園協会会長として地域に根差した私立幼稚園の振興に力を注ぐ。麻布仏教会会長、保護司なども歴任。平成21年5月、公益社団法人日本仏教保育協会・上村映雄理事長（当時）のもとで副理事長に就任。同年10月、上村理事長急逝の後を受け同協会理事長に就任。仏教保育の振興に尽くす。

### 三浦俊彦先生

（前日仏保理事長、城北幼稚園理事長・愛知県名古屋市長）



京都大学 文学部哲学科卒業、昭和47年、京都大学

学院文学研究科卒業・修士号取得。同年9月、城北幼稚園園主事に就任。同53年に城北幼稚園園長に就任。以来、仏教に根ざした園運営並びに保育の推進・指導に力を注ぐ。城北幼稚園は「ひとりひとり輝いてほしい」と願って創立

し、親子三代にわたる卒園児を送り出した文字通り地域の幼稚園として親しまれてきた幼稚園。昭和60年、学校法人専念寺学園城北幼稚園理事長に就任。平成23年4月、社団法人日本仏教保育協会副理事長に就任と同時に、地元の愛知県仏教保育協会会長の任に就き、平成27年3月の副理事長並びに会長退任まで、協会の公益社団化をはじめ協会本部と地域における仏教保育の振興・発展に力を尽くす。



# 懇親会

増上寺に隣接する、ザ・プリンスパークタワー東京のスカイバンケットで公益社団法人名誉会長・八木季生台下のご臨席を得て行われました。

緑谷理事長挨拶に続いて、八木名誉会長の御垂辞があり、86歳を迎えられたとのことですが、幼児教育の重要性を説かれ、力強いお声で当協会の発展と先生方を激励されました。

## 「第12回理事会・第9回運営審議委員会」開催

平成28年5月16日 / 大本山増上寺・増上寺会館

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は、平成28年5月16日、社員総会（6月1日開催、前ページ参照）に先立って標記の会を大本山増上寺・増上寺会館において開催しました。要旨を報告します。



御垂辞の後、八木名誉会長から関岡俊二先生（公益社団法人日本仏教保育協会前理事長）、三浦俊彦先生（公益社団法人日本仏教保育協会前副理事長）のお二人に「仏教保育功労賞」が贈られました（三浦先生はご欠席でした）。関岡先生の謝辞のあと、金子聡秀監事の乾杯の音頭で、会は佳境に入り、33階からの夜景を楽しみながら懇親を深めました。

司会・進行の五島満事務局長が、第12回理事会・第9回運営審議委員会開催を告げた後、正面に掲げた仏旗に向かって緑谷

一雄理事長の主唱で三婦依文を斉唱。議事に先立ち、同理事長より「待機児童の多い千葉県では保育施設の開設を急いでいるが、子どもがうるさいとの理由で開設できなかった。風鈴の音、運動会のピストル音などもクレームの対象となっており、除夜の鐘の音も騒音だと言われ、昼に変えたという寺の話もある。一年を収める除夜の鐘、保護者の切なる願いなども『騒音』という名の元に片付けられ

る。私たち仏教保育者は凛とした姿勢で対応していきたいと思う。上程議案、しっかりと審議、賜りたい」旨の挨拶がありました。そして、五島事務局長より本会が成立する旨の報告。

次いで、定款に基づき緑谷理事長が議長に就任し、議事に入りました。

上程議案は次の通りです。  
1号議案 平成27年度事業報告  
2号議案 平成27年度収支決算・監査報告

3号議案 その他  
(1)平成27年度事業報告  
高輪真澄総務担当常任理事から配布資料に沿って、所管する①生命尊重、⑥関係団体との連絡提携、⑧国際交流、社会貢献の実践、⑨奨励事業について報告。続いて高木正尊研究担当常任理事から②調査・研究、③現職教育、④指導者養成について報告。五島事務局長から⑤編集・刊行、⑦保育制度対策の活動強化、⑩その他必要な事業、並びに会議、について報告しました。

(2)平成27年度収支決算・監査報告  
麻布恒子財務担当常任理事から、平成27年度収支決算について添付資料の収支計算書を参考に説明がありました。監査報告については金子聡秀監事から、資料を示しながら業務監査の運営は適正であり、会計監査の結果については以下の状況を正しく示していることを認めたと、報告されました。

(3)その他  
①緑谷理事長より報告  
内閣府公益認定等委員会事務局より2名が当事務所に来所され、立ち入り監査が実施された時の様子を以下のように説明。  
「今後は3年に一度、定期的の実施されるようである。公益社団法人になって最初であるため口頭での指導であったが、概ね適正に運営されているとのこと。但し、理事会の定数に対して出席者が少ないとのこと、定数も含め選任の方法・見直しが必要ではないかと指摘された。また、古屋賞、持田賞、仏教保育協会賞（各大学の学生1名ずつ。受賞者は大学に1任）などの表彰規定については、選任等も含めてかなりの時間を割いていた。公益社団法人としての今後の検討課題であることを示唆されたようにと思う」と報告しました。

②「第34回全国仏教保育福島大会」全国大会実行委員長・吉岡棟憲先生より報告  
被災地である福島県仏教は加盟園も少なく日も浅いことから準備

隣接の栃木県、宮城県から支援を頂きながら準備を進めている。参加者の募集は5月末締切りとなつているが、現時点では福島県の加盟園で180名の確約を得ている。13園すべてで動員のための活動を続けている。東武トップトラベラー郡山支店には、150名の参加申し込みがあるというが、まだまだ目標の600人にはほど遠い。多くの参加を先生方をお願いしたいと呼び掛けられた。

\*五島事務局長から  
「研修会の分科会座長が未定です。私・五島か堀江から、本会議にご出席の先生方を含めてご連絡しますので、その折にはご快諾くださるようお願いいたします」と、要請した。

③「仏教保育功労賞について」  
理事長から「6月1日の社員総会後の懇親会の席上で『仏教保育功労賞』の受賞者としての理事会からご推薦することにしたと思います。どうかご推薦頂けますか」との呼びかけに意見が出ず、事務局一任により、「上村理事長急逝のあとを引き受けてくださった前理事長の関岡俊二参務と前副理事長で愛知支部長を長く勤められた現参務の三浦俊彦先生をご推薦したいと思っております。」の声を受けて、このお二人を社員総会で発表



被災地である福島県仏教は加盟園も少なく日も浅いことから準備

に不安もあつたが、本部はじめ



することを決議した。

④【熊本地震について】

高山副理事長から提案

「熊本地震では、大変な被害と亡くなられた方々が大量おられます。当協会では、従来から被災者に義援金を贈っておりま

⑤【菩提樹学園の運営について】

高山副理事長から説明

菩提樹学園の育成協力については、日仏保として100万円、生命尊重の募金から100万円、合計200万円の支援を行なっています。公益社団法人国際仏教興隆協会（K B K K）の話では、現地の物価高騰等により、現在では年間700万円ほどの費用がかかり500万円の赤字。今後も運営面で困難が生じてくるであろうというのが運営委員会のお話でした。

当協会としては、子どもたちのためにも事業は続行して欲しいと願っています。現地の社会状況を今後も調査し、様々な知恵を絞って存続に努めたいと思います。また新たな情報がありましたらお知らせいたし

ます」と、菩提樹学園の状況を報告した。

＊緑谷理事長から

菩提樹学園の財務に関して説明し、「日仏保も創立以来支援協力してきただけに、具体策を考えなければなりません。先生方のお知恵を拝借したい」と要請した。

＊小林研介理事（栃木）から

「今、大変保育士不足が叫ばれています。足利短大などで非常勤講師をしています。その学生はほとんど都会の幼・保に行ってしまう地元では足りなくなっている。現在もこれからも不足が考えられるとの認識をしておいていただきたいと思います」と述べ、協会としても、こども園、幼稚園、保育園いずれも保育者なのだから、国や町に対して訴えていく必要があるのではないかと提案した。

＊小俣昌道参務（東京）

「品川で幼保一体化を進めている園をしておりますが、幼保一体化といっても幼稚園と保育園は制度の面で別々です。…」と幼稚園と保育園の複雑な内容について詳細に説明。特に金額



について詳しく話され、日仏保は幼・保両方あるのだから制度の矛盾を訴えていく必要があると述べた。

＊笠 信暁 運営審議委員（福岡）

「インド菩提樹学園では年間700万円かかるのでしたの円かかるとのことでしたの。知人がネパールにお寺を作り20年間関わる中から、建物を作っても教育する人を育てなければ意味がないというので、10数年前からネパールの人を日本に留学させて教師の資格を取らせている。現地の人にとって日本で資格を取

今まで資金だけの援助だったとすると、現地の人にそういう形で息の長い支援するには人を育てる協力をする必要があるのではないかと。そんなところこそ色々な仏教系の大学が協力して引き受けてやっていくお手伝いをしてもらう、アイデアを持つてやっていくことで長いお付き合いを築いていけるのではないかと。最近、元ネパール駐日大使に聞いた話だと、日本人でネパールに学校を作りたいという方もいるという。人を育てるといふことを考えていくことで、少ない金額であっても人が育つ道があるのではないかと提案した。

# 熊本地震に「義援金」

平成28年4月に発生した熊本地震で犠牲になられたご遺族の方々に衷心より哀悼の意を表しますと共に、困窮生活を強いられる皆様からお見舞い申し上げます。

公益社団法人日本仏教

保育協会（緑谷一雄理事長）は6月1日開催の社員総会終了後、熊本地震への支援の一環として募集している救援基金へ、義援金50万円を公益財団法人全日本仏教会に寄託しました。



（公財）全日本仏教会の和田学英氏（財務部長）へ緑谷理事長より手交

◎高山副理事長

財政的な面だけでなく保育の指導はもとより、日本の絵本を現地語に訳したり、保育者を派遣するなど様々な支援をしてきました。40年も経つと今までも何人も卒園生が保育者になるといふ事例もあります。ご提案のように息の長い事業として現地の需要を考えつつ保育者が日本での幼稚園施設をしたり資格を取ったりというのを希望され、その道が開けることが出来れば良いと思いますし、同感です。ご提案、有難うございました。以上のような活発な討議が交わされ、盛会裏に理事会を終えました。

# 花まつり

（敬称略）

月かげみどり保育園  
園長 浦田 裕人

日仏保理事  
〒604-8423 京都市中京区西ノ京西月光町19-1  
電話 075-8215010

【お詫と訂正】

本紙5月号（No.625）花まつり（協賛広告）掲載の長野市「若草幼稚園」の理事長先生のお名前に誤りがありました。正しくは「黒柳博仁」先生でした。茲に謹んでお詫びし訂正いたします。



# 平成 27 年度 事業報告

平成 27 年 4 月 1 日  
平成 28 年 3 月 31 日

## 基本方針の生命尊重の 保育確立と心の教育の推進

1. 生命尊重の保育推進
  2. 活力ある日仏保
  3. 魅力ある日仏保
  4. 国際交流・社会貢献のできる日仏保
- を重点に次の事業を行った。

## 1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

- (1) 生命尊重の保育推進のための実践・普及活動(募金運動)

昭和 58 年より始めた「いかせいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を贈呈。27 年度にはネパール地震救援金を送付した。現在までの寄託総額は約 1 億円にのぼる。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはシール、保護者には「日仏保協会の活動について」を配布。

## (2) 財政確立のための振興活動

1. 支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。また、その他のブロックもアプローチを図る。
2. 広告・寄付金の増大を図る。
- (3) 生命尊重の集い等の推進

4 月 京都幼支部  
「花まつり園児大会」

5 月 宮城支部  
於、みやこめっせ  
「第 55 回こどもはなまつり」  
於、イブスミティ 21

11 月 大阪支部 「絵画展」  
於、海遊館マーケットプレイス

12 月 東京支部 「釈尊成道を祝

## う幼児と母のつどい」

- 於、よみうりホール  
神奈川支部「成道会の集い」  
於、ホテル横浜ガーデン  
京都幼支部 「成道会」  
於、臨濟宗妙心寺派大本山  
妙心寺・大方丈  
埼玉支部 「第 31 回佛教幼児絵画展」 於、さいたま市文化センター展示室  
愛知支部  
「第 48 回仏教保育絵画展」  
於、名古屋市民ギャラリー  
展示室

2 月 京都幼支部 「涅槃会」  
於、西本願寺・聞法会館

2 月 愛知支部 「第 6 回三河地区仏教保育絵画展」  
於、豊川プリオホール

- (4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行  
「改訂わかりやすい仏教保育総論」普及促進

## 2. 調査・研究

- (1) 仏教保育にかかわる調査・研究  
1. 「支部講習会等特別助成金制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各県より要請された講習会等に本部より講師の派遣を行った。
2. 本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論」(平成 16 年 2 月初版・平成 22 年 11 月改訂チャイルド本社刊) は、全国の支部・養成機関でテキストとして活用されている。
3. 養成機関連絡協議会を 2 月に開催し、研究協議を行った。

(2) 仏教保育研究所

仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行。

## (3) 仏教教育研究会

仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。

## 3. 現職教育

- (1) 中央講習会  
ア. 第 83 回夏期仏教保育講習会  
7 月 22 日・23 日の両日、東京増上寺大殿において、東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約 150 名の参加を得て開催。講師には駒沢女子大学教授・千葉公慈先生、絵本作家とよだかずひこ先生、ジャーナリスト・猪熊弘子先生、全国青少年教化協議会・神仁先生、児童文化実践講師・近藤千春先生、鶴見大学短期大学部講師・鮫島良一先生等を迎えて、仏教保育の講義並びに保育に係る様々な内容の講義と実技を交えての 2 日間の講習会を終えた。

機関紙平成 27 年 8 月号第 616 号に掲載

- イ. 第 59 回関西地区仏教保育研修会  
平成 27 年 6 月 27 日、本願寺津村別院(大阪市)において劇団かかし座を講師として 76 名が参加し開催された。

機関紙平成 27 年 9 月号第 618 号に掲載

- (2) 支部講習会・ゼミナール等の開催促進  
平成 27 年度各支部講習会・ゼミナール等の実施状況  
3 月 31 日 東京支部  
「第 50 回教諭・保育士研修会」  
於、神田寺幼稚園 100 名参加  
4 月 18 日 長野支部  
「総会・記念講演」 於、善光寺

事務局講堂 100 名参加  
5 月 2 日 愛知支部  
「新任教諭・保育士研修会」  
於、東別院 63 名参加

5 月 20 日 埼玉支部  
「平成 27 年度春季研修会」  
於、埼玉会館

5 月 23 日 長野支部  
「新任者研修会」  
於、井田東部保育園 28 名参加

5 月 30 日 三重支部  
「総会と講演会」  
於、高田本山宗務院 32 名参加

6 月 3 日 福島支部  
「平成 27 年度研修会」  
於、郡山市卸町会館 30 名参加

6 月 7 日 栃木支部  
「教員・保育士研修会」  
於、恵光幼稚園

6 月 7 日 栃木支部  
「研修会」 於、恵光幼稚園

6 月 13 日 京都保支部  
「第 1 回職員研修会」  
於、西本願寺安穩殿 31 名参加

6 月 19 日 香川支部  
「平成 27 年度仏教保育講座」  
於、サン・イレブン高松 49 名参加

6 月 20 日 長野支部  
「講演会」 於、善光寺事務局講堂 100 名参加

6・7・9・10・11 月 東京支部  
「東仏保ゼミナール」5 回開催  
於、飯田橋セントラルプラザ 各 60 名参加

6・11 月 東京支部  
「東仏保研究ゼミナール(施設見学)」2 回開催  
麻布山幼稚園/一之江保育園 15 名/16 名参加

7 月 29 日 埼玉支部  
「平成 27 年度夏季研修会」  
於、曹洞宗大本山永平寺 20 名参加

7 月 31 日 北海道支部  
「第 34 回北海道仏教保育研修大会」 於、真宗大谷派旭川別院・旭川グランドホテル 111 名参加

8 月 6 日 宮城支部  
「宮城県仏教保育夏期研修会」  
於、東京エレクトロンホール宮城 100 名参加

8 月 28 日 京都幼支部  
「泊研修会」  
於、書写山円教寺宿坊 23 名参加

9 月 5 日 愛知支部  
「二期を迎えるの保育者研修会」  
於、建中寺幼稚園ホール 52 名参加

10 月 18 日 三重支部  
「三重県・高田派仏教保育協会合同研修会」 於、高田派京都別院・嵐山・東本願寺 42 名参加

10 月 23 日 愛知支部  
「絵画展事前研修会」  
於、真悟寺幼稚園 12 名参加

10 月 31 日 京都保支部  
「第 2 回職員研修会」  
於、月かげ保育園 19 名参加

11 月 2 日 兵庫支部  
「研修会」 於、兵庫県私学会館 30 名参加

11 月 7 日 長野支部  
「新任者研修会」  
於、雷鳥保育園 38 名参加

11 月 11 日 京都幼支部  
「第 2 回定例研修会」  
於、くろたに幼稚園 26 名参加

11 月 26・27 日 栃木支部  
「研修会」 於、あさやホテル

12 月 10 日 群馬支部  
「公開保育」 於、長昌寺保育園 31 名参加

1 月 16 日 長野支部  
「園内研修のまとめ発表」  
於、善光寺事務局講堂 100 名参加

2 月 5 日 群馬支部  
「パネルシアター講習会・園長



- 研修会」於、ホテル木暮 24名参加
- 2月23日 香川支部 「平成27年度冬期仏教保育講座」於、サン・イレブン高松 28名参加
- 2月24日 茨城支部 「研修会」於、ホテルグランド東雲 67名参加
- 4. 指導者養成**
  - (1) 平成27年度第1回仏教保育研修会 平成27年6月1日 於、増上寺・光摂殿 講師 野村證券株式会社・金融公益法人部 塚寄智志先生
  - テーマ「寺院を取り巻く環境変化と検討課題」70名参加
  - 機関紙平成27年7月号第615号に掲載
  - (2) 平成27年度第2回仏教保育研修会 平成28年1月20日 於、増上寺・光摂殿 講師 淑徳大学総合福祉学部教授 柏女霊峰先生
  - テーマ「子ども子育て支援制度と保育」100名参加
  - 機関紙平成28年3月号第623号に掲載
  - (3) 養成機関連絡協議会 平成28年2月22日 於、芝パークホテル
  - テーマ「仏教保育をいかに現代に生かすか」
  - 参加養成校8校・9名
  - 機関紙平成28年4月号第624号に掲載
- 5. 編集・刊行**
  - (1) 機関紙「仏教保育」月刊 園長・教職員対象 平成27年4月1日発行第612号より平成28年3月1日発行第623号まで、時宜に適した日

- 仏保に関連した事象を取り上げ紙面の充実を図った。
- 編集委員会は月1回 於、日仏保事務所
- (2) 「仏教保育カリキュラム」月刊 教職員対象 企画会議 年1回 於、日仏保事務所 編集会議 月1回 於、日仏保事務所 校正委員会 月1回 於、エフ・コーポレーション
- (3) 「ほとけの子」月刊 保護者対象 仏さまのみ教えを通して、親子共々「心の豊かさ」のある人としての成長を願ひ編集し紙面の充実を図る。
- 企画会議 年2回 於、日仏保事務所 編集会議 年6回 於、日仏保事務所
- (4) 仏教保育教材の編集・監修 1. 「ほとけの子」ひまわり版 月刊 年長児対象 編集会議 年3回開催 於、すすき出版
- ☆「わたしの記録」卒園児に 対して配布
- 2. 「ほとけの子」チュリッパ版 月刊 年中児対象 企画会議 年2回、編集会議 年3回開催 於、すすき出版
- 3. 「ほとけの子」たんぼぼ版 月刊 年少児対象 編集会議 年2回開催 於、日仏保事務所
- 4. 出席カード 編集会議 年1回開催 於、フレールベル館
- 5. なつこのえほん 編集会議 年1回開催 於、すすき出版
- 6. ともだちいっぱいっれしい

- な(すすき出版) 新入園児対象
- 7. その他必要な教材
- (5) 「いかせいのち」
- 日仏保写真ニュース未発行
- (6) 「日仏保ポスター」未発行
- 6. 関係団体との連絡提携**
  - (1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡
    - 1. 公益財団法人全日本仏教会 公益財団法人国際仏教興隆協会への役員派遣。公益社団法人全日本仏教婦人連盟、公益財団法人仏教伝道協会との連絡提携
    - 2. 日本宗教保育事業協議会 (仏教、神道、キリスト教) の振興
  - (2) 各私立、各宗保育団体との連絡
    - 1. 各私立全国研修会及び会議へ理事長、副理事長、本部の中心メンバーが参加、連絡を図る。
    - 2. 各宗保連の研修会、全国講習会にも同様に出席、連絡を図る。
  - (3) 地方組織との連携強化及び育成指導
    - 1. 支部講習会等特別助成金交付制度を適用し、以下の支部に配布。①愛知 ②東京 ③栃木 ④北海道 ⑤兵庫
    - 2. 支部の会議及び事業に本部より訪問し連絡を強化。
  - (4) 保育関係企業との連絡
    - 1. 各企業継続事業の推進及び新規事業も模索(すすき出版 新規事業、フレールベル館、チャイルド本社、ひかりのくに、世界文化社、学研教育みらい、若越 エフ・コーポレーション、等)。
- 2. 新年懇親会にて懇談

- 7. 保育制度対策の活動強化**
  - (1) 幼保加加盟施設の運営・経営の調査 幼保加加盟施設の各地区の現状分析
  - (2) 保育制度研究会(全国制度対策委員会)
  - (3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化 平成28年1月20日 ザ・プリンスパークタワー東京にて新年懇親会開催
  - 機関紙平成28年2月号第622号に掲載
- 8. 国際交流、社会貢献の実践**
  - (1) 国際交流等と社会貢献(災害救援を含む)を積極的に推進
  - (2) インド菩提樹学園の育成協力
  - ア. 菩提樹学園運営委員会の開催 平成27年11月9日 於、日仏保事務所
  - 平成28年2月15日 於、国際仏教興隆協会事務所
  - イ. 運営基金の管理運用
  - ウ. 運営及び育成指導への協力
  - (3) オメツプ(OMEP)に協力
- 9. 奨励事業**
  - (1) 日本仏教保育協会賞 本年度養成機関卒業生 平成27年度32名/30校
  - (2) 仏教保育功労賞 仏教保育実践に功労のあった個人で、適任者がいる年度のみ授与 第21回受賞者3名 第4回社員総会懇親会席上にて表彰 日野昭文先生(京都、松尾幼稚園) 浦田裕人先生(京都、月かげ保育園) 安井昭雄先生(東京、光明幼稚園)
- 10. その他必要な事業**
  - (1) 会員加入促進運動
  - (2) 将来検討委員会の開催(未実施)

- (3) 奉祝花まつり・暑中見舞い広告 成道会等の協賛広告(協賛広告を例年通り継続)
- (4) 各種出版物、教材の開発・販売推進(重点教材・出版物「ほとけの子」)
- (5) ホームページの充実
- (6) その他 「仏教保育なるほど12か月」「改訂わかりやすい仏教保育総論」「ポップアップ絵本おしゃかさま」「新選ジャーナル絵本全5巻」の普及促進
- ◇ 会議
  - (1) 5月8日 平成26年度業務・経理監査会 於、日仏保事務所
  - (2) 5月13日 第9回理事会・第7回運営審議委員会 於、増上寺会館
  - 機関紙平成27年6月号第614号に掲載
  - (3) 6月1日 第4回社員総会 第10回理事会・第1回仏教保育研修会 於、増上寺・光摂殿
  - 機関紙平成27年7月号第615号に掲載
  - (4) 1月20日 第11回理事会・第8回運営審議委員会 第2回仏教保育研修会 於、増上寺・光摂殿
  - 機関紙平成28年2月号第622号に掲載
  - (5) 常任理事会・事務局会議 年11回開催 於、日仏保事務所 以上

**【報告事項】**  
 平成28年2月18日(木) 午前10時から午後5時 法人運営組織及び事業活動の状況に関する立ち入り検査実施。内閣府公益認定等委員会事務局より2名事務所に来所。



**第 84 回**

# 夏期仏教保育講習会ご案内

主催：公益社団法人日本仏教保育協会 / 共催：東京仏教保育協会  
会場：増上寺・光摂殿（東京都港区芝公園 4 - 7 - 35）

## 7月21日（木）

9：00～9：30 受付

9：30～9：50

朝のコーラス

公益財団法人 全国青少年教化協議会 研究員  
吉水知草先生

9：50～10：20 開講式

10：20～10：50

「仏教保育の話」

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長  
緑谷一雄先生

10：50～11：00 休憩

11：00～12：00

「世界に弘まる仏教の魅力

— 日常に活かせる教えと実践 —  
武蔵野大学 ケネス 田中先生

12：00～13：00 昼食

13：00～14：20

『絵本』という出会い

絵本作家 ひろかわさえこ先生

14：20～14：30 休憩

14：30～16：00

「保育を楽しもう」

玉川大学 教育学部 准教授  
田澤里喜先生

## 7月22日（金）

9：00～9：10 受付

9：10～9：20

オリエンテーション

9：20～10：20

「豊山保育の根底にあるもの」

真言宗豊山派 保育連合会 理事長  
大澤聖隆先生

10：20～10：30 休憩

10：30～12：00

「パネルシアターの世界」

— ハラハラ、ワクワク、ドキドキ、アラッ不思議! —  
佛教大学 教育学部 教授  
高橋 司先生

12：00～13：00 昼食

13：00～14：20

「保育環境デザインへのアプローチ」

大谷大学 短期大学部 准教授  
富岡量秀先生

14：20～14：30 休憩

14：30～15：50

「子どもとのふれあいあそび」

～ リズムあそび ～  
リズム・リトミック・音楽指導員  
松澤育子先生

15：50～16：00 閉講式

### 事務局日誌

- 5 / 10 平成 27 年度業務及び会計監査会
- 5 / 11 「仏カリ」 「仏教保育」 編集会議、事務局会議  
 こどものくに 「チューリップ版」 編集会議  
 「ほとけの子」 編集会議
- 5 / 16 第 12 回理事会・第 9 回運営審議委員会  
 (大本山増上寺・増上寺会館)

一日一粒「梅干し」食べて活力アップ！  
 「元氣な笑顔で、福島で会いましょう!!」

6 月に入ると、入梅を告げる情報になります。しかし、梅雨は 6 月だけではありません。3 月頃のすっきりしない天気が続くことを『菜種梅雨』といい、5 月下旬から降る雨を『走り梅雨』と呼ばれています。そして「入梅」です。うっとうしい雨もこう呼ばれてみると、何ともゆったりとした風情が漂ってきます。そこで「梅雨」の語源を調べてみました。「梅の実が熟す」から、「梅が潰れる頃」と所説あるようですが、すべて「梅」に因っていました。

梅と言えば、「梅干し」を一日一粒食べるだけでエネルギー代謝を助ける、つまり「食欲も活力もアップ！」すると言われていきます。確かに、見ただけで唾液があふれ出て消化を助けるでしょうし、口を含めば酸っぱさで胃腸も活性化して食欲アップに繋がります。梅干しの栄養成分であるクエン酸の働きでエネルギーを作り出すわけですから、蒸し暑い梅雨の日の一粒の梅が「元気の素」であるのは確かです。

昔は、それぞれの家で梅干しが作られていました。我が家でも空を見上げて梅雨の晴れ間が三日は続くと思えば祖母が、塩をまぶした甕の中の梅を取り出してムシロの上に広げて天日干し。「天日で干すから『梅干し』と言っんじやよ」と教えてくれた祖母の声を思い出します。三日後に祖母自慢の「梅干し」の完成です

閑話休題。皆さん、梅干しで活力付けて「第 34 回全国仏教保育福島大会」でお会いしましょう!!

公益社団法人 日本仏教保育協会  
 〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4  
 ホームページ <http://www.buppo.com/>  
 電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519  
 発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満  
 毎月 1 回 1 日発行 (1 部 315 円)



### 仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

### 編集後記

■オリンピックの足音が近づいてきました。でもまだまだ盛り上がりつつあるのは東京だけでも知れませんが、自分が高校生の頃、長野五輪を現地で観戦する機会に恵まれました。会場付近を歩いていると外国の街かと錯覚してしまうほど外国人が多かったこと、そして各種競技の壮さに圧倒され、素晴らしい思い出になりました。あるオリンピック選手を地元イベントにお呼びした際、金メダルを持って来てくれました。しかも子どもたちに触らせてくれるのです。そんな大事なものを大丈夫なのかとその選手に聞いてみると、「自分が子どもの頃、スポーツ選手にメダルを見せてもらい、感動して自分もオリンピックを目指そうと思った。今日をきっかけに次世代の日本を代表するアスリートを目指す子どもが出てくれれば、こんなに嬉しい事はないです」とおっしゃいました。やはり「本物」は違うなと思います。日本でオリンピックが開催されるという稀代のチャンスです。どんなマイナー競技でも良いから何とか子どもたちに見せてあげたい、と策を練る今日この頃であります。

(高山)

## 紙芝居 おしやかさま 全 4 巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体 ¥20,000 (8%税込 ¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面 38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を 4 巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文  
お問い合わせ  
すずき出版